

シートベルトの着用状況の調査結果！

警察庁と社団法人日本自動車連盟(JAF)は、10月1日から10日までの間に調査したシートベルト着用状況の結果を発表しました。

全国におけるシートベルトの着用率は、一般道路の運転席が98.5%（前年98.4%）、高速道路の運転席が99.5%（前年99.4%）、助手席も共に90%を超える高い着用率でした。一方、後部座席のシートベルト着用率は、一般道路が36.0%、高速道路が71.8%で、特に一般道路の後部座席の着用率が低い結果となりました。

滋賀県の結果は下表の通りです。

区分	運転席		助手席		後部座席			
	着用率	順位	着用率	順位	着用率	順位		
一般道路	平成28年	滋賀県	98.0%	全国39位	92.5%	全国42位	44.6%	全国9位
		全国平均	98.5%		94.9%		36.0%	
	平成27年	滋賀県	97.8%	全国39位	94.4%	全国25位	43.5%	全国7位
		全国平均	98.4%		94.6%		35.1%	
	平成28年全国1位	99.7%	長崎県	98.3%	岩手県	49.0%	長野県	
高速道路	平成28年	滋賀県	100%	全国1位	98.6%	全国21位	84.8%	全国5位
		全国平均	99.5%		98.0%		71.8%	
	平成27年	滋賀県	99.3%	全国31位	99.5%	全国6位	80.4%	全国11位
		全国平均	99.4%		98.0%		71.3%	
	平成28年全国1位	100%	青森県、宮城県、岩手県、秋田県、山梨県、岡山県、佐賀県、長崎県、宮崎県	100%	岩手県、宮崎県	89.6%	秋田県	

滋賀県の一般道路でのシートベルト着用率は、運転席・助手席とも全国平均を下回っています。後部座席は全国平均を上回っていますが、50%に満たないほど低い着用率です。高速道路においては、運転席・助手席は98%以上の着用率ですが、後部座席は80%程度の着用率となります。

平成28年中の交通事故死者は53人ですが、そのうち自動車乗用中の死者は18人で、うち9人(50%)がシートベルト非着用でした。また、非着用の9人のうち4人(44.4%)は、シートベルトを着用していれば助かった可能性があります。



シートベルトを着用することにより、交通事故に遭ったときに命が助かる可能性がとて高くなります。車に乗るときは必ずシートベルトをして下さい。